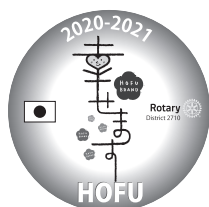


G

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Contents

- ガバナー挨拶…………… P02
- 「水と衛生月間」に思う…………… P03
- 特別コラム…………… P04
- ガバナー予定者決定のお知らせ／地区大会PR…………… P05

- 新型コロナウイルス感染症に対して
今ロータリアンとしてできること…………… P06-07
- 新会員紹介／出席率／編集後記…………… P08



こんなにうまい水があふれてゐる

国際ロータリー第2710地区
2020-21年度ガバナー

脇 正典



山頭火は酒をこよなく愛していました。酒の美味しい所は水のうまい所です。行脚の地を辿ると水の美味しい所を歩いています。「へうへうとして水を味ふ」と美味しい水を堪能しています。JR防府駅でんじん口の小川の傍には行乞行脚姿の山頭火像があり、そこに「ふるさとの水をのみ水をあび」という句が書かれています。水は故郷の味です。

今月は「水と衛生月間」です。日本では、水道水や美味しい水が飲めることが当たり前ですが、世界では稀なことです。日本に生まれたことを感謝しなければなりません。

当たり前のこと、普通のことができることがいかにありがたかったかをコロナ禍で思い知りました。ロータリー活動ができることは当たり前ではなく、家族・従業員を始め多くの皆さんの協力のおかげです。感謝の気持ちを持ち、素直に言葉で表わすことが大切です。

例年通りができなかったのは、ロータリーだけではありません。世界中のあらゆる人々に被害が及んでいます。その中でも若い世代の皆さんは一度きりの青春の時間を失い、苦しんでいます。オリンピック選手をはじめ、受験生・就活中の人は大変ですが、再チャレンジはできます。

NHKの「青年の主張」という番組がありました。北海道のキャンピングアテンダント志望の青年の発表は、今年度コロナ禍で航空会社の募集がなく、専門学校で今まで頑張ってきたことは何だったのかという思いからの発言でしたが、それでも希望を捨てず、夢を追い求めるということでした。鳥羽商船高等専門学校の青年は、専門の知識を活かし、マスクをしていてもAIで顔認証できる観光アプリを開発し、1億円の評価がされました。地元就職し、地元観光を発信すると意気込んでいました。コロナ禍に負けず新しい発想で頑張る若い人達にエールを送りたいと思います。

山頭火は「まっすぐな道でさみしい」と詠んでいます。公式訪問の折、あるRC会長さんが、紹介されました。何もかも思い通りになる人生より、紆余曲折・思考錯誤のある道も時には必要と思われる。山頭火の反骨精神かもしれませんが一理あります。

さて、ロータリーの「水と衛生月間」ですが、発展途上国では、水を確保するため、子ども達が遠い水くみ場まで毎

日水の入った重いバケツを頭に載せて何往復もしなければなりません。学校へ行く時間もとれません。貧困の連鎖を止めるためにも水の確保は大きな意義があります。水は清潔な飲み水だけでなく、生活用水、灌漑用水も重要です。

日本人で貢献した人として、アフガニスタンで非業の死を遂げられた中村哲さんがおられます。大学の同窓生ですが、一度お話を聞いたことがあります。感動しましたが、私は募金のお願ひに十分には応えなかったと思います。その時はまさか銃撃で亡くなるとは思いませんでした。残念です。

中村さんはお医者さんですが、診療所で病気を見るだけでなく、アフガニスタンの早魃に襲われた大地を見て、「100の診療所、100人の医師よりも、1本の井戸、一つの用水路が人々の命を救う」という信念で用水路を建設されました。(2019-20年度G9ガバナー補佐三宅宏氏「2020年4月号ガバナー月信」)

ロータリー財団のグローバル補助金の使用例では、井戸を掘る、用水路を整備することが多く見られます。

福山東RCのインドネシア、福山南RCのタイ、広島南東RCのザンビア、広島中央RCのケニア、周南西RCのスリランカが井戸・水道・トイレ等の整備のための申請が2019-20年度に出されています。

2020-21年度には防府RCから周南西RCと合同でスリランカへのグローバル補助金の申請が出されました。ウバ州モナラーガラ県モナラーガラにおいて、水の衛生分野のテーマについて、自治体関係者・宗教指導者・地元住民らとの現地調査訪問をコロポアップダウンRCと合同で行うことを計画され、地区ロータリー財団委員会でも了承されました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症のため、現地へ赴くことができず、多くの計画も凍結されています。しかし、広島中央RCのケニアモヨチルドレンセンターへの雨水溜10トンタンク2個贈呈式がバーチャルで実施されていました。素晴らしいことです。他のプロジェクトもコロナ禍の状況が回避されれば、実行に移されることと思います。

コロナ禍がおさまり、一日も早くロータリー活動が活発にできることを願っています。

「水と衛生月間」に思う

国際ロータリー第2710地区
2012-13年度パストガバナー

大之木 精二



ロータリーでは毎年強調事項の一つとして、「水と衛生月間」を設定し問題意識の深化を図っているが、主題を水に集約するならその捉え方は多種多様である。即ち「貧困・飢餓・健康・食糧・気候変動・治水」等人間生存上避けて通れない事象の何れも、水が密接に関係し基本要素となっていることに気付かざるを得ない。

良質な生活用水の安定供給に重点を置きがちなロータリーであるが、視点を高めてもっと幅広いスタンスに立つべきではないかと私は考えている。

本稿では紙面に限りもあるので、「貧困」と「気候変動」に於ける水問題を取り上げてみたい。

【貧困との関連】

従来所得が低いことを「貧困」と捉えていたが、最近では幸せを追い求める手段を奪われている状態とする解釈が通例となっている、その意味で水が人々の生存権を侵す場合も、明らかに「貧困」の一形態に違いない。

水が人々の命を支える重要な資源であることは言うまでもないが、開発途上国では12億人が安全な飲み水を入手出来ず、24億人がトイレ等の衛生設備を持っていない。毎年180万人の子供達が不衛生な水が原因の病で命を落としている現実の根底にあるのが貧困である。

安全な飲料水にアクセスできない人々が世界で9億人存在し、そのことが貧困の一つの原因となっている。アクセスとはWHOの定義によれば、1km以内に1日20ℓの水を確保できる場所があることを言うが、1km歩く往復時間は平均で30分、安全な飲み水へのアクセスがない人達が、毎日家族全員分を運ぶのに4往復を要するとすれば、2時間以上の水汲み労働が必要となる。こうした重労働が途上国では子供や女性の仕事とされ、その為子供の就学率や女性の社会進出にマイナス影響を及ぼし、貧困の温床を形成する。多くのロータリークラブが、当該地域でアクセス短縮の奉仕活動に注力していることは、この事実からして大いに評価されて然るべしと考える。

一方MDGs(ミレニアム開発目標・2000年)は、2015年迄に安全な飲料水を利用できない人々の割合を半減する目標を掲げたにも拘わらず、SDGs(持続可能な開発目標・2015年)で更なる推進を呼びかけているのは、残念ながらその実現がかなり遅滞している証左と言わざるを得ないのである。

途上国では国の貧困が治水対策の不備となり、その結果

洪水が頻発して水源の破壊と供給路の汚染を招き、良質な飲料水の供給不全に繋がるだけでなく、衛生問題にも波及することが多い。又灌漑不良で十分な農業用水が得られなくなると、それだけでなく狭小な農地の生産性は更に低下し、貧困からの脱却を益々困難にする。1人当りの生活費が1.25ドルに満たない貧困層が人口の約27%に達し、その4分の3が途上国の農村居住者であるとの主因が、水問題にあるという現実を私達は凝視すべきではないだろうか。

【気候変動との関連】

地球環境問題の筆頭は「気候変動」であり、地球温暖化を始めとする気候変動で最も影響を受けるのが水資源である。水問題は様々な形態で人々の生活に関与するだけに、水がもたらす被害について言えば、途上国のみならず我国を含む先進国でも大きな問題となっている。

昨年(2020年)は北半球の平均気温が6-8月で過去最高となり、2年連続で最も暑い夏を記録したが、専門家はこれを温暖化の影響と見做し、放置すればあと数十年で文明崩壊のリスクが到来すると言う。

水資源の崩壊や供給路の汚染が良質な生活用水の提供を妨げる一因として貧困を挙げたが、これらを温暖化の弊害と見做すことも可能である。即ち温暖化による早魃や洪水、砂漠化が水の生態系を破壊して、更なる不便と苦痛を惹起しているからである。

温暖化がもたらす水不足に於て、関連的に食糧問題への波及を見逃すことは出来ない。飽食の時代に生きる私達はややもすれば此の問題に疎くなるが、途上国では長引く紛争や自然災害などで食糧不足が続いている。世界の約10人に1人は今日の食事がなく、2億7000万人が飢餓の状態にあるとWFP(国連世界食糧計画)は警鐘を鳴らしている。

食糧危機にはアフリカ、南アジア等における紛争もその起因の一つであるが、気候変動による早魃など自然災害の要因が多いことも忘れてはならず、温暖化に拍車をかける先進国の責任が、もっとも問われるべきではないか。我国を含む先進国が、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする目標を公表しているものの、中国や米国は沈黙のままで足並が揃わない。

大事なことは脚下照顧、夫々の地域で1人ひとりの生活の場が存在するのであるから、人が暮す地域の集合体が地球環境であるとの認識に立ち、先ず私達の足許から保全に献身したいものである。

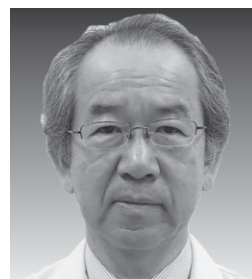


特別コラム

健康リテラシーを身につけよう

国際ロータリー第2710地区
がん予防推進委員会委員

廣川 裕



このたび地区がん予防推進委員会委員として寄稿の機会を頂きましたので、がんや感染症など疾病予防の観点から健康リテラシー（ヘルスリテラシー）の大切さについて述べさせていただきます。国際ロータリーの活動重点項目の1つに「基本的教育と識字率向上」があり、9月は識字率向上月間に指定されています。識字（リテラシー）とは「読み書き能力」のことですが、現代社会におけるリテラシーとは、様々な情報の中から自分が必要なものを探して「入手」する力や、見つけた情報を正しく「理解」する力、そして情報の信頼性を「評価」して、それを「活用」できるかどうかの能力（スキル）も合わせた概念になっています。したがって健康リテラシーとは、健康や医療に関する情報を入手して理解し、それを評価して上手に活用するという、その人の持つ「健康を守る力」のことです。

日本人は、他の先進各国に比べて「マスメディアを信じやすい傾向がある」と指摘する声があります。医療情報においても、例えば週刊誌が「高血圧の薬は飲まない方がよい」「がん検診は受けてはいけない」などと特集を組めば、その雑誌がよく売れるという状況があります。「健康食品」に関するある調査では、消費者の約6割が「健康食品」を利用しており、その多くは含有成分や機能性を重視して商品を選択すると回答しており、一見論理的に説明される「疑似科学」の商法に付け込まれるリスクに繋がっています。インターネットの時代になって、ますます情報の信憑性は不確かなものになっており、的確にサイトの性格や科学性を評価しなければ、皆様の健康は「疑似科学」や「エセ医学」に脅かされることになります。

国立がん研究センターがまとめた「がんを防ぐための新12か条」が公開されていますが、その第12条では「正しいがん情報でがんを知ること」が挙げられ、健康リテラシーの重要性が強調されています。健康リテラシーが高い人、健康を守るためのスキルに長けている人は、健康や医療に関する情報をうまく入手しこれを選別して、健康的な行動習慣を確立しており、病気になったとしても確に対応できる結果、「健康な長寿」が得られることになります。インターネットで発信される玉石混交の多数の情報から、

信頼性が高い正しい情報を抽出して活用できるのが、情報リテラシー・健康リテラシーの高い人です。

どのような病気にも基本となるべき診断・治療方法があります。医療においては、医師の「経験・慣習」や「権威付け」ではなく「科学的根拠（エビデンス）」に基づくことで、必要かつ十分に適切な方法を選択することが求められます。そして、科学的根拠に基づいて最良の治療であることが示され、ある状態の一般的な患者さんに推奨される治療が「標準治療」と定義されています。最先端の治療は、開発中の試験的な治療として、その効果や副作用などを調べる「臨床試験」で評価され、それまでの標準治療より優れていることが証明され推奨されれば、その治療が「新たな標準治療」となります。

私が所属する広島東RCでは、2020-21年度に特別委員会として健康維持増進委員会を新設しました。これは2710地区に再設置された「がん予防推進委員会」の活動に連動する委員会として、喜瀬清今年度会長の「がん予防に限定せず幅広く健康を維持し増進するために活動して欲しい」との方針で作られたものです。委員会活動としては、クラブ会員ならびにご家族・社員さんを含むロータリーファミリーに対して、がん予防や各種生活習慣病の予防の大切さ、感染予防の大切さを理解してもらい、健康リテラシーを身に付けるノウハウを一緒に考えてもらおうと、「賢い市民・賢い患者にならしましょう」を合言葉に、例会で「医療こぼなし」の時間をもらいミニ卓話の形で報告しています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市民生活・社会生活の多くの部分で自粛が求められ、窮屈で不安定な「withコロナの時代」が続いています。しかし、人類の英知の結集により安全で有効なワクチン・治療薬の開発と臨床試験が進み、広く人々に活用される標準的な予防法や治療法が確立して、新型コロナウイルスなど病原微生物との「穏やかな共存」の時代に戻る日は近いもの確信しています。ロータリアンの皆様におかれましては、個人や社会の「健康リテラシー向上」を意識されて、健康な市民生活・社会生活の回復のためにご尽力いただくよう心からお願い申し上げます。

国際ロータリー第2710地区 2023-24年度 ガバナー予定者決定のお知らせ



広島南ロータリークラブ
い ない こう き
井内 康輝

2021年1月28日、当地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第12条12.030.4により2023-24年度ガバナー候補者として 井内 康輝 氏（広島南RC）を推薦し、その旨細則第12条12.030.5により 地区内会員に公表致しました。

その後、2週間の期限までに対抗候補者の推薦がございませんでしたので、細則第12条12.030.10により 井内 康輝 氏 を国際ロータリー第2710地区2023-24年度ガバナー予定者として決定致しましたことをご通知申し上げます。

2023-24年度ガバナー予定者 略歴

〔所属クラブ〕 広島南ロータリークラブ
〔生年月日〕 1948年8月7日
〔職業分類〕 医学研究
〔学歴〕
1974年3月 広島大学医学部医学科卒業
1978年3月 広島大学大学院医学研究科修了
〔職歴〕
1990年5月 広島大学医学部教授
2002年4月 広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授
2002年4月 広島大学医学部長
2012年4月 NPO法人総合遠隔医療支援機構理事長（現在に至る）
2014年4月 株式会社病理診断センター代表取締役社長（現在に至る）
2018年4月 ひろしま病理診断クリニック院長（現在に至る）

〔主公職〕
2012年10月 広島市教育委員会委員（現在に至る）
2006年5月 環境省、石綿健康被害判定部会専門委員（現在に至る）
2008年4月 厚生労働省、石綿確定診断委員会委員（現在に至る）
〔ロータリー歴〕
1993年9月 広島南ロータリークラブ 入会
2005-06年度 広島南ロータリークラブ 幹事
2010-11年度 広島南ロータリークラブ 副会長
2012-13年度 広島南ロータリークラブ 会長
2013年5月 ロータリー世界平和フォーラム 幹事
2013-14年度 国際ロータリー第2710地区、ガバナー補佐
ベネファクター
第3回 マルティプル・ポール・ハリス・フェロー
第3回 マルティプル米山功労者
2013-14年度 地区功労賞（ガバナー補佐）
2016-17年度 地区ロータリー財団功労賞

日程およびプログラムを変更しました

Rotary
District 2710

2020-21 国際ロータリー第2710地区

地区大会in防府

2021. 5.16 ㊤

国際ロータリー第2710地区
2020-2021年度ガバナー
脇 正典

ホストクラブ
防府ロータリークラブ

プログラム

大会諸委員会、会長幹事長会、基調講演【防府グランドホテル】
本会議、記念講演会「東京大学史料編纂所教授 本郷和人氏」【防府市公会堂】
※今後の新型コロナウイルス 感染症の拡大状況によっては、開催予定のプログラムが予告なく変更になる場合がございます。

記念
講演

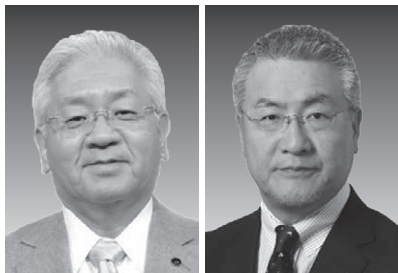


東京大学史料編纂所 教授
ほん ごう かず と
本郷 和人氏



新型コロナウイルス感染症に対して 今、ロータリアンとしてできること

第2710地区がん予防推進委員会 委員 井上 文之
福山東ロータリークラブ 小西 直人



1. 新型コロナウイルスの特徴

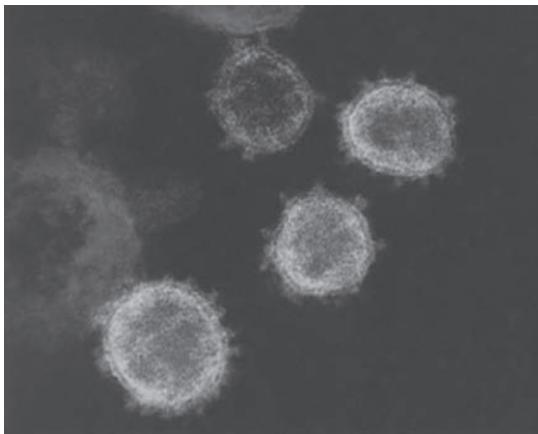


図1

図1は新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真ですが、ウイルスの表面に突起があり、これが王冠のように見えるという事から、ラテン語で王冠を表すコロナという名がつけられました。大きさは1万分の1ミリの大きさで、病原微生物（正確には生物とは呼べない程小さい）としてはこの地球上で最も小さい病原体です。

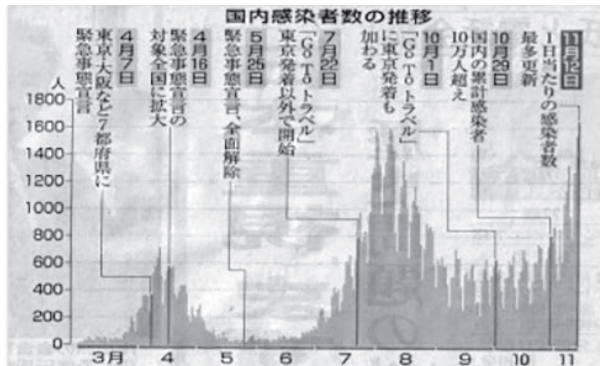


図2

よくテレビなどで、図2のような棒グラフを見られたことがあると思いますが、なぜ人が動くと感染が拡がり、なぜロックダウンすると感染が収まってくるのでしょうか。

ウイルスはそれ自身単独では増殖できず、生きている細胞の中でしか増殖できません。空気中やドアノブ等に付着しているだけでは、核酸とたんぱく質の塊にしかならず、体内に侵入して複製を繰り返すことで増殖していきます。

マalariaは蚊が媒介動物で、ペストや食中毒はネズミやノミが媒介動物です。これらの媒介動物を駆除することによっ

て病気の拡がりを防ぐことができますが、新型コロナウイルス感染症は媒介動物が人間なのです。ですから、人が動き、多数の人と交わることによって病気が拡がって行くのです。

インフルエンザや普通感冒などではウイルス量が増え、症状が出だした頃から感染力が大きくなりますが、厄介な事に、この新型コロナウイルス感染症は症状が出る1～2日前から感染力があります。熱があり、味が分からないなどの症状があれば、新型コロナウイルス感染症にかかっているかも知れないと思われるでしょうが、症状が全くなく、熱もなく元気な普通の人が感染力のあるコロナウイルスを持っていて、自分でも気がつかないうちに他の人に感染させる危険性があるのです。ですからマスクが重要なのです。

食事をする時にはマスクをはずします。人と会食する時にはマスクをはずして話をします。特に多人数での会食の時などは声が大きくなりがちで、より唾液が散る可能性が高くなります。だからマスクをはずして声を出す時が一番危ないのです。

今回のコロナウイルスには鼻咽頭にもウイルスが付着しますが、唾液の中にもウイルスがいます。PCR検査をする時に唾液を検査するのも、唾液中にコロナウイルスが入っているからです。

数ヶ月間、人の出入りのない蜘蛛の巣が張ったような薄暗い古い蔵のような場所には、細菌や真菌（カビ）のようなものはいるかも知れませんが、コロナウイルスはいないのです。

明るくて清潔そうで、香水の良いにおいのするミニスカートの美人が大勢いるクラブのようなところにコロナウイルスはいるのです。（他にも危険なものが潜んでいるかも知れませんが）

この新型コロナウイルス感染症は、数週間で世界中に拡がりましたが、アフリカにエボラ出血熱という強毒なウイルス感染症があります。このような強毒なウイルス感染は今回のように短時間では拡がらないのです。それはウイルスが強毒で、媒介動物である人間、宿主がすぐに死んでしまうので、ウイルスも死んでしまうから拡散しないのです。

基本的には、ウイルスは種特異性がある、普通は種を超えて伝染はしないのですが、人が世代交代に要する年月よりはるかに速く増殖する為、遺伝子の写し間違いがランダムに短期間に何度も起きやすいのです。その為、その遺伝子に変異しやすく、元々は動物にしか感染しなかったウイル

スが人間にも感染するようになるのです。

今回の新型コロナウイルス感染症は、SARSやMERSよりは死亡率が低いですが、人と人との感染がしやすいようになっています。

一般的に空気が乾燥しているとウイルスは微小で軽く、空気中に浮遊する時間が長くなりますが、空気中に湿気が高いと空気中の水分がウイルスにくっつき、重くなって下に落ち浮遊ウイルスは減少します。風邪やインフルエンザが湿気の多い夏よりも乾燥する冬に多く流行るのは、昔はストーブの上にやかんを置いて湿度を保っていました、最近は電気暖房ですます乾燥し、湿度が低下していることがその原因の一つと言われています。

今回の新型コロナウイルス感染症の最大の問題点は症状が出る前から感染力を持っていることで、症状が出る2日前から感染力を持ち、最も感染力が強いのは発症2日前から発症5日目までと考えられています。

最近、CDC（アメリカ疾病予防管理センター）が詳細な論文を出しています。その中で

- ①複製能力のあるウイルスが検出される可能性は発症後に低下する。
- ②軽症から中等症の新型コロナウイルス感染症患者の場合、発症してから10日すれば複製能力のあるウイルスは検出されない。
- ③大規模な接触者の追跡調査によると、発症から6日以上経過した患者に接触しても家族や病院スタッフは感染しなかった。

以上より、新型コロナウイルス感染症の軽症から中等症の患者の場合、発症から10日すれば感染しなくなる。発症2日前から発症5日間が最も感染力が強い。特に発症2日前から発症までの期間は本人も症状がなく、他人に感染させているという意識がなく最も感染のリスクが高く、マスクが重要であることがわかります。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止には、まず感染力を持った人をチェックし、その人たちをいち早く社会から隔離をする事だと思います。それには、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（以下COCOA）」を利用し、精度の高いPCR検査をどんどん積極的にすることが有効だと考えています。COCOAは一部の人のみの利用では効果が上がりず、出来るだけ多くの人が利用することが肝要です。

2. 新型コロナウイルス感染防止策と課題

2020年初頭から種々のコロナ対策が行われ、「予防」・「発見」・「治療」のレベルは上がってきていますが、いまだに感染者が劇的に減少せず「封じ込め」が大きな課題となっています。

「封じ込め」に不可欠の無症状感染者の把握が十分にできず、自分が感染力のあるウイルス保有者である自覚のないまま日常生活をおくっている人が多くいることが感染の拡大の要因の一つと考えられていますが、人手に頼っての感染経路調査は難しいことが証明されており、デジタル化された情報の共有化などITを人的作業とうまく組み合わせることで感染の可能性のある人が早期に検査を受け、「封じ込め」の実効性を高めていくことが必要です。

3. COCOA（接触確認アプリ）の概説

目的と仕組み

COCOAとは厚労省提供のスマホ向け無料アプリであり、スマホの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して自分も知らない間に感染者と接触した可能性を利用者に知らせることを目的としています。感染者と利用者はお互いにわからないようプライバシーが確保されています。

接触確認の通知

感染者がアプリ上で陽性登録すると14日以内に感染者と1m以内で15分以上接触した可能性のある人に、件数と接触日が通知されます。

課題

有効利用率70%に対し、現在の利用率は20%未満にとどまっています。

4. 今ロータリアンとしてできること

ロータリアンの皆様にはCOCOAの導入が進めば進むほど新型コロナの感染拡大防止にプラスになることを理解いただき、下記の様に行動していただくことを提案したいと思っています。

- ①各クラブでスマホの取り扱いに詳しい会員3～5人程度を指名し、COCOA導入サポートチームを組成する。
- ②地域社会のリーダーとして、各クラブでスマホを持つロータリアン全員がCOCOAアプリを導入する。
- ③COCOAの導入を家族および職場で啓蒙し、導入数を増やす。
- ④同様の活動を地域社会で拡げていく。

2710地区全ロータリアン（3250人）が家族、職場および友好取引先（100人）とその家族（4人）にCOCOAの導入を図れば、理論的にはそれだけでスマホ保有者の30%から40%程度に普及が可能となり、普及率7割に向けての大きな弾み車の役割を果たすことが可能となります。

新会員紹介

 神崎 伸二 宇部 2021年1月14日 生命保険	 山下 暁正 周南西 2020年12月8日 土木建築	 栗原 英見 徳山セントラル 2021年1月18日 私立学校	 中村 雅幸 岩国 2021年1月7日 建設業【熱絶縁工事】	 大谷 悟 岩国 2021年1月7日 医療【外科医】	 片山 学 岩国 2021年1月14日 新聞【地方】	 都志見 隆子 岩国中央 2021年1月6日 ピアノ講師	 坂本 誠 福山東 2021年1月6日 インストラクター
 花澤 広行 福山丸之内 2021年1月1日 証券業	 越智 幸志 福山赤坂 2021年1月19日 ギフト販売	 岸本 一彦 福山南 2021年1月7日 OA機器販売	 大山 展央 福山南 2021年1月7日 土地家屋調査士	 田頭 勉 福山南 2021年1月7日 損害保険	 吉山 聡 福山西 2021年1月12日 リホーム業	 福田 哲也 松永 2021年1月18日 酒類販売	 中尾 泰三 松永 2021年1月18日 塗装業

追悼の意を表します 謹んで	 2021年1月24日 ご逝去(享年76歳)	【ロータリー歴】 1995-96年度 幹事 2002-03年度 会長 ペネファクター マルチプルボール・ハリス・フェロー 第4回米山功労者 【職業分類】 不動産管理 広島安芸 故 野間 昇司 殿	 2020年12月22日 ご逝去(享年63歳)	【ロータリー歴】 2004-05年度 幹事 2016-17年度 会長 ペネファクター マルチプル ボール・ハリス・フェロー 【職業分類】 金属銘板製造 広島東南 故 林 良一 殿	 2021年1月9日 ご逝去(享年63歳)	【ロータリー歴】 会員増強委員長、他歴任 【職業分類】 総合建設業 東広島 故 平原 秀則 殿
------------------	---	---	--	--	--	---

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度会員増減・出席率(2021年1月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初7/1	当月末日	会員数	本年度入会	本年度退会
1	長門	68.85	19	18	3	1	2
	下関	65.29	45	46	1	1	0
	下関中央	81.62	38	38	8	0	0
	下関東	75.28	56	65	3	9	0
	下関北	90.11	41	43	1	2	0
	下関西	88.34	32	33	0	2	1
	計	78.25	231	243	16	15	3
2	萩	98.17	51	50	1	0	1
	萩東	83.22	25	27	0	2	0
	美祿	69.57	24	23	1	0	1
	小野田	67.46	40	39	2	0	1
	宇部	96.55	42	45	2	4	1
	宇部東	64.79	12	10	1	0	2
	宇部西	88.24	48	49	4	2	1
	計	81.14	242	243	11	8	7
3	防府	91.59	56	59	1	4	1
	防府北	95.58	23	24	3	1	0
	防府南	75.69	40	42	6	4	2
	山口	87.27	40	46	4	7	1
	山口東	91.17	27	25	1	0	2
	山口南	95.70	44	43	5	0	1
	計	89.50	230	239	20	16	7

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初7/1	当月末日	会員数	本年度入会	本年度退会
4	光	64.38	44	44	0	3	3
	周南西	100.00	54	57	6	5	2
	徳山	100.00	43	44	1	4	3
	徳山セントラル	87.26	22	24	1	2	0
	徳山東	100.00	46	49	0	3	0
	計	90.33	209	218	8	17	8
	岩国	84.69	63	64	0	4	3
5	岩国中央	88.85	38	38	4	1	1
	岩国西	91.87	60	62	5	3	1
	柳井	85.71	31	32	3	1	0
	柳井西	99.03	22	23	5	4	3
	計	90.03	214	219	17	13	8
	広島	100.00	112	125	2	14	1
	広島安芸	85.71	44	43	3	0	1
6	広島安佐	75.60	21	21	1	0	0
	広島東	85.71	105	115	8	14	4
	広島北	98.57	98	101	0	4	1
	広島北北	84.86	56	55	2	0	1
	大竹	64.14	31	31	0	0	0
	計	84.94	467	491	16	32	8

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初7/1	当月末日	会員数	本年度入会	本年度退会
7	広島中央	85.71	74	74	7	0	0
	広島廿日市	80.97	23	21	1	1	3
	広島城南	85.71	40	39	3	0	1
	広島南	100.00	84	90	0	8	2
	広島東	85.71	96	93	14	3	6
	広島西南	84.49	71	69	3	1	3
	広島西	85.71	86	89	3	3	0
	計	86.90	474	475	31	16	15
8	江田島	89.44	18	18	0	0	0
	東広島	91.13	26	29	3	4	1
	東広島21	72.10	19	19	4	0	0
	呉	88.38	69	69	1	2	2
	呉東	87.11	33	33	1	0	0
	呉南	91.81	56	56	1	1	1
	西条	99.57	33	33	2	0	0
	計	88.51	254	257	12	7	4
9	広島空港	85.99	28	28	3	0	0
	因島	93.87	16	17	1	1	0
	三原	92.58	57	55	0	2	4
	尾道	82.50	76	84	2	9	1
	尾道東	85.47	55	54	7	1	2
	瀬戸田	66.66	3	3	0	0	0
	竹原	95.88	18	16	3	0	2
	計	86.14	253	257	16	13	9

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初7/1	当月末日	会員数	本年度入会	本年度退会
10	府中	60.54	25	21	2	0	4
	福山	92.96	83	83	0	2	2
	福山東	81.60	47	47	3	1	1
	福山丸之内	94.23	29	30	1	2	1
	鞆の浦	75.52	21	20	0	0	1
	福山LREC2710*	87.36	13	13	2	0	0
	計	82.04	218	214	8	5	9
11	福山赤坂	93.99	52	54	5	3	1
	福山北	97.97	38	38	2	4	4
	福山南	90.05	52	59	2	7	0
	福山西	95.76	33	34	2	2	1
	松永	92.60	51	50	2	2	3
	計	94.07	226	235	13	18	9
	吉舎	97.54	14	14	0	0	0
12	三次	72.45	35	39	1	6	2
	三次中央	74.98	38	40	5	2	0
	庄原	77.40	31	31	5	3	3
	東城	73.70	18	18	1	0	0
	計	79.21	136	142	12	11	5
	第2710地区計	85.91	3154	3233	180	171	92

※正式名称「福山ロータリーモクラブ2710」

※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。

※今年度終了後、最終的な出席率をお伺いいたします。

編集後記

英雲荘（国指定史跡萩往還関連遺跡三田尻御茶屋）は、萩藩が参勤交代の際に利用していた「萩往還」の街道に沿って建つ長州藩のお茶屋として1645年に建設されました。現在も造りは当時のままで、一歩足を踏み入れた瞬間、時を忘れてしまいます。

1939年に毛利家から防府市に寄付され、晩年をこの地で過ごした7代藩主毛利重就の法名にちなみ、英雲荘と名付けられました。

これまで本誌で紹介した防府天満宮、周防国分寺、旧毛利家本邸といった防府の名立たる歴史的建造物を関連付けていけば、その歴史の深さから興味が倍増していくと思います。

敷地内にある池泉回遊式庭園は必見です。また、展示品から建物の趣向、沿革まで、詳しく案内もしていただけます。是非一度、訪れてみてはいかがでしょうか？

松田和彦